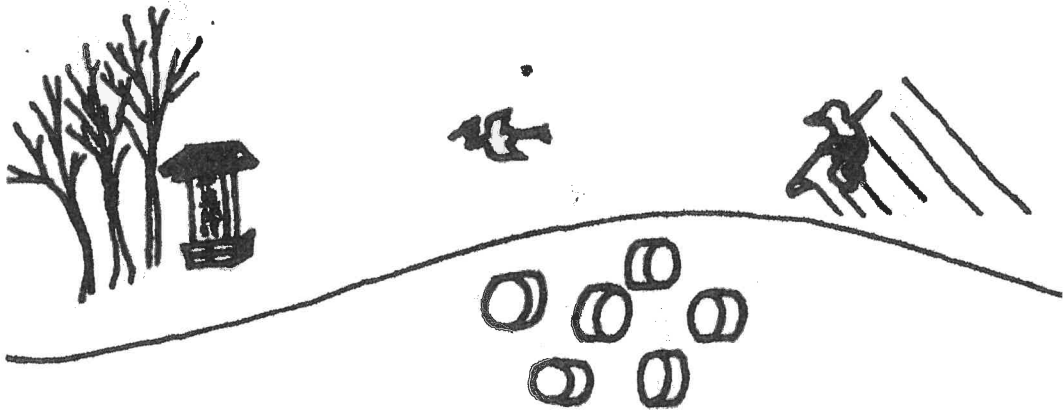


2021年 第5回

当別町こども百人一首

当別短歌会



目次

伊達邦直の和歌	.....	一
大賞 二作品	.....	二
小学校の部	.....	三
当別小学校	.....	四
西当別小学校	.....	十三
中学校の部	.....	十五
当別中学校	.....	十六
西当別中学校	.....	二六
当別高校の部	.....	三四

かかる世に力尽くしてみがきみよ玉の光を今よりぞまつ

桃園（伊達邦直）

伊達邦直（仙台伊達岩出山領主）は明治四年北海道開拓のため当別へ移住しました。この和歌は明治五年、第二回移住の時、三人のこともを岩出山に残し三男の篤三郎（四歳）へ宛てた手紙の末に書いてあった和歌です。

意訳は

「このような混乱した世の中であっても、勉学に励み様々な勤めを怠ることなく  
精進し己を磨き立派な人となることを念願し、今から片時も忘れずあなたの  
成長を俟っていますよ。」

\*\*\*当別町文化協会会長賞\*\*\*

くまぼくじょうえさをなげるとくまさんがたまねきたりおねだりしたり 小林あいの 当別小一年

…歌評… 熊牧場へ行ったことのある人はこの歌を見て「そうそう」と頷かれると思います。

行ったことのない人も熊の可愛いようすが良く分かり、作者と熊のようすが的確なことばで表現された作品である。

\*\*\*当別短歌会賞\*\*\*

ネットでは笑っているが現実は真顔で送る「笑」のスタンプ

吉田 友希 西当中一年

…歌評… マスメディアの現代、インターネットは欠かせない手段であり、現在はスマートフォンを手軽に持ち情報交換をしている。メールなど色々な表情のスタンプを利用し感情表現をするのだが作者は「笑」のスタンプを送っても必ずしも笑っていない自分がいるという。昨今のコミュニケーション手段であるネット社会の現実を鋭く見抜いた作品である。

一席

楽しみはとつじよ頭にひらめいた物を図工で作りだす時

中田 一義 西当小六年

二席

とうさんとグリーンランドでゴーカートスピードびゅんびゅん2かいものった向井はすの当別小一年

三席

たのしみはいつもコツコツためている金額全て見て分かる時

斎藤 春磨 当別小六年

佳作

せんせいとなつやすみさいごにあいましたうれしさいっぱいたのしさいっぱい

うすきのへ 当別小一年

ほたるみてくわがたかぶともみつけたよびかぴかしたりのそのそしたの

田中ようた //

かぞく4にんおうちでぎょうじつくったよとつてもおいしいすいきょうびだよ

野村わかな //

なつやすみウーパールーパーかいましたなまえももたろうかわいいんだよ

藤原あさひ //

フルーチェやなあじだったにがてだよおいしかったけどにがてだったよ

藤田 蓮人 //

たいへんだかくしてたことばれちったこわいこわいよもつうんざりだ

森 佳月 //

夏の海一足づつにつめたくなりもどっていくと温かくなの

横山あおい //

たのしみは外に出かけて空の雲いろんな形見つけてる時

遠山 耀士 //

桜散り緑の葉っぱが生い茂る一本の木から感じる季節

石田 梨緒西当小六年

コロナ禍で試合ができずつらい日々自主練積んで活躍したい

白戸 夢徠 //

秋の日にもみじが落ちる木の下で家族と食べるすみ火でサンマ

福村 歩生 //

なつやすみキャンプにいてさかなつりえびやさかないっぱいつれた	あつみ	さくた
かぞくとねキャンプにいったまなつのひプールのみずがきもちよかった	庵	ここ
おとうさんとかぶとむしとのきゃんぷじょうちいさいけれどわたしはわくわく	いわもと	なな
ばばとままゆいとはるきにんじやむらかっこがよくておどろいたんだ	うじいえ	はるき
よねぐちのおまつりいったよしゃぼんだまおおきくなってきれいだな	うちうみ	さくら
すいすいとかえるおよぎでおよいだよきもちがよくておもしろかった	江口	光
なつやすみにはあばのおうちであそんだよたのしかったよしあわせだった	えんどう	ことり
ともだちとスイッチのゲームであそんだよたのしかったよほくほくにここに	おおえ	こうた
ほんやさんおとうさんといきましたいっさつかってほくほくにここに	おおえ	はるちか
なつやすみどうみんのもりいきましたおさかなさがしたのしかったよ	おおつか	あかね
うみにいきみんなでさかなつかまえたみんなでおよいできもちよかった	おおはら	はるひ
なつやすみにうみにいっておよいだよなみにゆらゆらいいきもち	おかべ	せな
なつやすみともだちみんなとかぞくですいかをたべたおいしかった	おのぞら	ゆずは
なつやすみかぞくとかわでつりをしたさけをつったよいくらがあった	かしたに	かなと
なつやすみみんなでほてるにおんせんにえれべえたあにのってよかった	くろかわ	ひな
かぞくといとこきゃんぷにいてみずあそびかわにはいるとおさかないだよ	五東	吵夏

ははとまみみなでいったよゆうえんちかんしゃにわたしうきうき

佐藤 レミリア

ともだちとうみできゃんぷみずでっぽうしあわせいっばいたのしさいっばい

さわもと るあん

おとうさんといとこといっしょにつりをしたりしりのうみはさかながいっばい

菅原 たいせい

にいちゃんとおうちでゲームやりましたさいこうなきもちになっちゃいました

高橋 かい

ビューホテルプールにはいってながされたせのびしたからたすかった

たきもと はるき

なつやすみパパといっしょにゆうえんちボートにのってたのしかった

たぐち りのん

よにんでねまっくをたべたおいしかったうんてんありがとうあやめちゃん

たけだ はると

なつやすみママとサイクリングふとみまでじてんしゃでこいだたのしかった

たけだ りようへい

おかあさんとびっくりりどんきいのはんばあぐほっぺがおちるおいしさだった

はせがわ あおい

わっかないかぞくみんなでつりをしたおっきいさがなびっくりした

ほんま はるき

かぞく4にんぶらのきゃんぷじょうかぶとむしたのしさいっばい「やったあ」もいっばい三浦朔太郎

なつやすみとうべつダムにいきましたすごくひろくてきれいだっただよ

みずの りょうたろう

かぞくとねはなびたいかいなつのよるはなびのおとにちよびりびっくり

やまざき 立人

なつやすみおにいちゃんちにいきました。おもちゃげつとでうれしかったよ

やました りひと

かぞくみんなおうちのそとでバーベキューうれしいたのしいおいしすぎた

やまや かのん

かぞくとキャンプをしたよ！たのしくてターザンロープいっばいしたよ！

ゆあさ あり

当別小学校 二年

すべりだいゆうぐであそんだやけどしたたのしかったよまたいきたいな  
 プールしたおねえちゃんとかあちゃんとうれしかったねまたやりたいね  
 うみあそびともだちいたよおよいだよきにくうきわまた行きたいな  
 ころんだのじてんしゃしたのやきにくしたたのしかったよまたやりたいよ  
 みずあそびみんなでやったよもぐったよプールひろかったたのしかったよ  
 すなあそびひとでを2ひきすぐくこわいたのしいけどさむかったよ  
 水あそびはなびもしたよれなちゃんとたのしかったよまたいきたいな  
 いとことね水あそびをしたたのしいなわたしにここにいとここにこにこ  
 ねむれぬよるひかるほしぞら見ていたよこころいやされねむたいよるに  
 グリーンランドうつぶせになるやつたのしいなたのしかったよまたやりたいな  
 ながぬまでやきゆうをしたよはしかったよつかれてねたよまたやりたいな  
 うみあそびうきわですべて水のんだしょっぱくなってへんなあじだよ  
 ゆうえんちめりーゴーランドあそんだよたのしかったよきゃーきゃーゆったよ  
 プールいくおよいでもぐったいきやばいきもちがいいなたのしかったよ  
 あそんだよはな火をしたよいっはいねもういっかいねいたらいいな  
 かくれんぼパ見つかからないどこいったどこたいへんちよつとこわい

阿部	荒	伊藤	氏家	目見	菊地	工藤	齊藤	清水	高田	高橋	千田	堤	中村	平野	藤江
百奈	文香	沙月	咲菜	優羽	つばき	健心	周	遥翔	芽依	稜生	枇依	美柚	颯	吉翔	和奏



かわあそびつりしてつたよさかなをねあたまはこげたよにがかったよ  
グリーンランドジェットコースターのつたんだのしかったよまたいきたな

当別小学校 三年

楽しいな夏休みはね楽しいよ虫もいっぱい花もいっぱい

先生はともやさしいきょうしです大きな声でともやさしい

あついなつサンダルをはくかぜがふきすすしくなつたともきもちい  
わすれものおどろくぶくろわすれるなあしたはちゃんともってかえること

こうてんでせなががいたいけどがまんあしたもやるよすごくいやだな

夏休みたのしかったよ家まつりたくさんおかし買ってたんだなあ

ふかいいけへびをつかまへはなしますすいすいおよぐきえていったへび

いまははるさくらがさいて小鳥たちがこえをだすもうはるだな

米づくり麦もさかな当別で市場さかえたいい場所だ

おうちではいっつもにぎやかたのしいな家族五人でなかよしなんだ

さむいふゆジャンパーをきてやまにいくやまをみてみたらゆきやまだった

なつになるあたたかくなりみなあそぶプールにはいりじゃぶじゃぶ

みんなでえんそくへ行つたのしかたドッチボールときどきしたよ

なつよるたのしいはなびきれいだなかぞくでやつたよたのしくやつたよ

松本 奈七子  
鰐淵 向日葵

あさ田 そうた

荒 千尋

庵 ひようが

井田 永一郎

稲村 愛梨

岩淵 陽菜

上田 飛羽

うすき りお

大塚 青空

おかベ めい

大森 あきひと

おのであ りのは

金井 ひゆうが

きんご ゆうな

春のさくらきれいなはずおちる鳥もあつまるともいいひ

ふゆやすみわかさぎつりにいってからごじゅっぴきまでつってかえります

日曜日イオンに行つてゲームするでもあついとキアイスを食べる

春になりきれいなさくら広場でさくらがまってるきれいだな

そうじの時わたしはゆかふきやってねゆかをきれいにしたいへんだ

春のさくらすべちるけれどごつくしく鳥もあつまるともきれいな木

当別はやおやいっはいほかにはね水田さかん米と麦もね

そうじの時わたしはバケツでみんなのつくえをふいてたいへんだった

やきごどんずるするするあつすぎるたくさん食べるものもり食べる

夏休みしゅくだいヤダなつかれたなでもやんないとみらいがダメだ

そうじ中つくえあげたらすすわるとあそぶ楽しかったよ

ゆきだるまふゆにつくるのころころとなつになるとねとけていくよね

春の海すいているよなんでだろでもあそんだらくらげいた

夏休み八月二日たんじょうびケーキを食べすぎおなかこわした

あついなつサンダルをはく風がふくやきゅうをするぼっしをかぶる

雪ふっていっしょに作った雪だるまあたたかくなってとけちゃった

あついかかわからないよねさむいかながそできみのほんそできみの

工藤 しんじ

工藤 大が

くぼ田 り空

黒丸 聖大

小坂 ゆうほ

小坂 優馬

小林 あんな

小林 莉緒那

齊川 れん

坂本 ごう

佐藤 杏色

佐藤 未侑

佐藤 もと

清水 ゆめか

菅原 おう太

瀬戸 希成

竹田 ゆい

あついなつ楽しみにしてた水あそびスイカも食べたいい夏にしたい

夏すぎて秋近づくそさむくなるくまは冬みん食べ物集める

雪ふってたくさんつくった雪だるまあつくなくてきえっちゃった

楽しいな学校の時算数は全きょう科もやるきがでるさ

みずうみでジンバイザメにのっておよぎさかなよんひきつかまえました

習い事たいへんなんだ多すぎて休みたいけど行かなきゃだめだ

車でね火花を見たよときどきねきれいだったな三だい火花

朝おきた早おきたよごはん食べ学校いった楽しかったよ

ぼくはねはちゆうるいとなつと画生類がすぎです

はるとなつはるはずしくなつあつくふゆとあきふゆはさむい日

夏の時あつくあついねあつすぎるせんふうきかうそうだかおうよ

ヨウヨウはおまつりにあるしょうひんだあぶないけれどたのしいしゃてき

ばあちゃん家スイカを持ってるおもたいな多めにもらったたくさんあるよ

当別小学校 六年

たのしみはコロナ明けての野球での試合の時のボール打つ時

たのしみはおにごっこする夏の日にみんなで走るあせをかく時

たのしみは友達三人学校でおもしろいことしゃべっている時

たけだ れな

たてやなぎ はる生

寺尾 あづさ

並川 そうし

早川 風き

藤原 さくら

道塚 俐空

もりや あいり

山崎 央人

山下 葵衣

山田 まとい

わしお はると

和田 湊士

芦川 遼真

荒井 結海

石坂 彩桜

たのしみはグラグラ笑う学校のお友達と幸せな時  
 たのしみはリズムにのって友達とキラキラダンスハッピーな時  
 たのしみはプールに行つて友達とおもしろがって笑っている時  
 たのしみはコロナが明けて友達と遊んでつかれあせをかく時  
 たのしみは桜が舞う時期山に行き板をはいて春スキーする時  
 たのしみは学校行つて友達と校庭あそびともにする時  
 たのしみは誕生日に楽しみのケーキを食べていわたつてもらう時  
 たのしみは家族みんなでキャンプをしバーベキューをしゆったりする時  
 たのしみはみんなをよんでグラウンドと一緒にサッカーやっている時  
 たのしみはサッカー試合ドリブルでゴールむかってシュート打つ時  
 たのしみはれいとうみかんむいたとき手が冷たくておどろいた時  
 たのしみはユーチューブでKPOPの推しの曲を聞いている時  
 たのしみは休み時間に友達とドッチボールをしている時  
 たのしみは休み時間に友達と外で楽しく遊んでいる時  
 たのしみは土曜一時に全員でカップラーメンいっぱい食べる時  
 たのしみは休み時間に友達とおもしろいことで笑い合う時  
 たのしみは和菓子を食べてお茶をのみマンガや本を読んでいる時

石戸	花綾
宇嶋	陽愛
大石	康生
大倉	琥夢
大越	梨央
大坂	美歩
大林	里咲
岡田	幸織
小田島	虎侍朗
加藤	大翔
金井	彪琉
川口	みひろ
川口	悠斗
神田	さら
木村	翔空
熊谷	風羽
後藤	柁輝

たのしみは家族の一人弟と外で一緒に遊んでる時  
 たのしみは犬となかよく歩いたりはしゃいで遊んでる時  
 たのしみはおたんじょう日がやってきて家族みんなでおいわいの時  
 たのしみは姉父母と焼き肉で姉とマシユマロ焼いている時  
 たのしみはこちよい家にぎやかな家族と笑いしゃべり合う時  
 たのしみは学校終わり友達と公園に行き笑い合う時  
 たのしみは学校おわりに友達と外で遊んで笑ってる時  
 たのしみはアニメかんしようする時に時間忘れて楽しめる時  
 たのしみは休み時間に全力で外でたくさんかけまわる時  
 たのしみは仲よくなった友達とたくさん遊び笑い合う時  
 たのしみはスクールバスで友達と今日の出来話話し合う時  
 たのしみは休み時間にグラウンドで一年生とおにごっこの時  
 たのしみは自分の家の電子ピアノでスケーターズワルツを妹とひき合う時  
 たのしみは学校かえりいすすわりテレビ見てからゲームする時  
 たのしみは家族みんなで休みの日遠い所に出かけてる時  
 たのしみは日曜八時通知音スマホ開くと推しが居る  
 たのしみはいつも同じことだけとみんなでやるとおもしろい時

千葉	田村	田中	武田	竹田	曽根	隅田	清水	茂庭	獅子原	佐藤	佐藤	佐藤	佐々木	佐々木	櫻井	小林
安奈	優奈	駈	実優	莉緒	結依	わ花	愛叶	健人	諒顕	裕哉	百華	華夏	遼一	心	のの	蒼空

たのしみはみんなで祝った誕生日アイスクリームを食べ合う時

たのしみは庭に植えた木育つあと実る秋の日一人くう時

たのしみは宿題終わり妹とはまりのゲームやり始める時

たのしみは晴天の日にグラウンドでみんなをつれてかたきする時

たのしみは家にかえて友だちと公園に行きあそんでる時

たのしみはみんなでつりをしに行って自分はずれずおやがつる時

たのしみは友とたわむれこうえんでしばふのうえでボールける時

たのしみはLeo/needの曲聞きながら家庭学習集中する時

たのしみは木刀をふり妹と戦いをして笑い合う時

たのしみはおばあちゃん家でいとこたちと遊んだりしておとまりする時

たのしみはサッカーの時シュートしてカーブをかけてゴールした時

たのしみはコロナおさまりバスケットの試合の時にシュート打つ時

たのしみはみんなでいっしょにおにわでね花火を見たり花火をする時

たのしみは静かな風と二時間絵を書いていてがんばった時

たのしみは家にこもってすとぶりのグッズとなりに動画見る時

茶畑 悠衣

トルペル江海留

二瓶 娃美

畑野 ゆいと

原 永絆

星見 菜緒

村瀬 晴飛

山木 優希

山下 陽翔

山田 瑛太

山田 准大

山田 大翔

山田 美優

山本 ひより

和田 黎花

西当別小学校 六年

たのしいなゲームをみんなでウキウキと笑ってやっておもしろい時  
セミたちがミンミンミンとさわいでる子どもといっしょによるこんでいる  
たのしみは当別町のおまつりにいきみんなできそうゲームする時  
悲しみはコロナのせいで水泳の大会がなくタイムがでない  
たのしみはまだかまだかとプレゼントとどくのを待つ八月のとき  
たのしみはマグロサーモン注文しすしがきたら全部食べる時  
たのしみは6年として過ごすこと心を一つに道歩むとき  
楽しみは家へ帰って友達とフットナイトをやっている時  
たのしみは宿題をして遊びをしご飯を食べてぐっすりねる時  
冬すぎて春来たるらし散る桜ピンクの舞がひらひらひらら  
よろこびは運動会の大縄でひっかからずに楽しめた時  
夏ちかく夜空見上げて星さがしさがつけばもうはだ冷えてきた  
後悔が無ければ先を考えず今を楽しむことが大切  
たのしみは友達といっしょに話したり遊んだりして過ごすとき  
休みたい平日中は思うけど休みになるとひまだと感じる  
楽しみは一日終えてふとんかけ朝を待ちつつひたすら寝る時

明石	煌之介
阿部	海斗
新谷	恵唯
有澤	実桜
伊勢	心愛
宇野	令音
大野	みなみ
ガイガー	海
片野	綾珂
鴨川	凜璃子
嘉屋	優斗
川嶋	遥翔
菊地	慧
岸本	匠馬
北田	圭汰朗
桐井	征哉

わすれ物いつになってもなくならず2回チェックしてもわすれる

たのしみは勉強終わりワクワクと三十分ゲームをする時

好きなのは体育の時間鉄棒で足かけ回ろうまくいく時

たのしみは夜に星見てピカピカと光る星座を眺めている時

毎日を友達みんなで過ごすときじゅうじつしている学校生活

たのしみはコロナ終わってマスクとり世界中が笑顔さくとき

桜散り春風ふく日動物が元気いっぱいかけまわってる

夏が来るコロナに負けずがんばるぞみんな笑顔で明るい世界

たのしみは学校終わり友達と公園行って遊んでる時

うれしい日夏に家族でスイカ食べ暑いと言ってプールに行く日

たのしみは祖母のお家にあつまってせんこう花火いっしょにやるとき

たのしみはソファーにすわって笑いながら家族みんなでテレビ見る時

ありがとう恐怖を捨てて病院でコロナをなおすお医者さんたち

きらきらと光る太陽でたらされてバットをにぎりヒット一発

心から亜麻の花咲く親切や初夏の蒸した夜空を見上げ

たのしみはグラウンドの雪なくなるか春休みの日まで見て待つ時

予防して手洗いうがい消毒も自分のためにみんなのために

小山 悠真

佐藤 怜央

柴田 のどか

須藤 明希

泉亭 莉亜

平 柚希

多湖 はるか

高橋 希空

千葉 陸叶

中田 結衣香

長谷川 琴子

波多野 智雪

林 ひなた

平井 聖真

平村 晶奈

藤田 浩平

細川 栞寧



たのしみはピアノをひくとメロディーがどんどんふえてうつくしい時

たのしみは勉強おわりウキウキと自分のへやでマンガを読む時

いつ終わる新型コロナナこれのせいで世界の人が苦しんでいる

ホーホケキヨその鳴き声が聞こえたらもうすぐ春だと心高ぶる

五月中塾の帰りに友達と新しくできたジエラートを食べた時

サッカーでミャンマー日本試合して日本あつとうハンパないって

たのしみはコロナおさまりマスク取りみんな元気に笑い合う時

学校はみんなが笑い勉強し休み時間は校庭にいく

……………中学校の部……………

一席

思い出の空席待ちをする気はないあつという間な今を楽しめ

二席

「僕はもうきつと君らと話せない」「グッバイ、まぶしいネバーランド

三席

買い物中赤の他人のおばさんと急にはじまるおしゃべりタイム

佳作

夏休み勉強やばいおわらない速く終わらせあそびたかった

三浦 けい

宮浦 彩良

宮崎 ひよ菜

村尾 誠

山岡 心音

山田 知新

山本 蓮翔

吉田 りり

岩瀬 孝玖 西当別三年

小貴 幸乃 //

藤田 彩花 //

菊地美和斗 当別中一年

暗闇で小さいながら燃えているキラリ輝く線香花火

勉強中逃げ出す消しゴム手をかわし『太るぞ動け』とどこまでも行く

二年前努力と喜びとじこめた電子ピアノの録音機能

スマホみてページを開き広告がなかなか押せぬ小さなぼってん

たのしみは夏が終わりに近づいてはっぱの色がにじになるとき

夏休み今日もなにもないけれどそれが私の幸せだから

片づけ中一年上の先輩がくれた手紙に応援の文字

友達が高校や夢将来の話をしていて不安になった

真夏の日ふらつく私に声かけるどこが悪いの？あなたのせいよ。

.....

当別中学校 一年生 (学年別・五十音・原文のまま)

夏休み毎日あつくだらけすぎ勉強せず母におこられ

太陽がギラギラ光る真夏日に夜空見あげて星観察

夏休み暑い時にはかき氷キンキンしてて食べたくなるね

夏休み遊んでばかり気が付くと進んでいない課題山積み

真夏の日炎のように太陽がギラギラと燃え輝く光

なつのそらちりちりうかぶはなびたちとてもキレイだなつのあおそら

並川 亜瑚 //

長谷 渚 // 三年

菅原 逢子 西当中一年

冷水 爽 //

柳澤 成樺 //

川嶋 莉央 // 二年

川村 怜奈 // 三年

高橋 悠亮 //

千葉 凜 西当中三年

相原 蒼大

岩渕 結菜

岡部 里駆

大巻 アス力

小澤 友奈

垣澤 璃月

なつによるせんぷうきつけすずしげき食べるアイスはしあわせなこと

暑い日は外で水浴び楽しいな暑すぎる日はスイカを食べる

夏休み友と遊んで自転車で砂利道走り転びげがする

働けば汗が流れるこの季節きらきら光るたくさんの汗

夏休み課題手伝い疲れるが猫にいやされ元気がいふく

さかなつり初めてつれたウグイかなつれたウグイは川へもどそう

お盆には家でごろごろしてたいが課題に追われ地獄のようだ

風がない自分の部屋はねったい夜がまんできずにせんぷうきON

夏祭りお母さんから五百円手でにぎりしめ祭りへいそぐ

コスモスは太陽をあび風に乗る根からひらき根からかれる

夏祭りゆかた姿で友達と打ち上げ花火心の模様

トンボがはねをみにつけとんでゆくふわりととんでゆくとんぼ

夏の日に外でみる空ギラギラとかがやきすぎて目がいたすぎる

チクタクととまらない音響いてる一刻一刻聞こえて来る音

風のない青空の下ギラギラと降り注ぐのは空の照明

こんな日に夏の暑さを感じてねアイス食べ過ぎ家族カンカン

夏の夜仲間といっしょに打ち上げ花火きれいだがいっしゅんでちっていく

加藤 由依菜

金子 乃亜

河村 春翔

木屋路 唯乃

菊田 結花

工藤 佑哩

熊谷 煌央

坂井 まひる

坂本 心菜

佐々木 渚光

佐藤 聖姫

澤田 翔舞

澤田 結月

新林 佑兼

鈴木 愛姫

関原 樹

高橋 泰之

麦雨すぎ花にしたたる水鞠が太陽映し大暑来たり

暑い夏シリシリ照らす太陽がうつつとうしいほど照らしてくる

風鈴の音がすすしき夏休み今年の夏はもうしよなりけり

夏の朝寝起きの時に下に降りアイスを食べるゲームをする

シャリシャリと音を鳴らして降る雪は人の大群中心に

雨音は静かになりて地におちて植物などの養分となる

雨の中父さんで行くくみにいく山のわき水苦く極まる

ごほうびを楽しみにしてまっしぐら暑い日差しにアイス夢見て

夏はやだあついし虫も出るんだよこれからもずっと夏はつづくよ

なつやすみかだいにあせることもたちあせりにあせりあさひがのぼる

宿題の量が多くてやる気なし破滅絶望もう死んじまう

楽しいな輝く海をかけめぐり海の世界へとつにゆうだあ

二冊目の増える数字に減る厚みまさかの描写心臓につめあと

暑い夏窓の向こうの土に成る輝くルビー紅色果実

なつのひるみんなたてにせんぷうきみんな暑いけどあそびたいよね

青空に輝いている丸いものまぶしいものでとても大きい

なつやすみうみにいってあそんだらともだちにあってあそんだな

高橋 凜

高橋凜（同姓同名）

高山 一華

太齋 颯

谷口 悠

田村 依愛

千葉 大

津崎 集飛

寺田 光希

中嶋 洸太

中西 一希

鳴海 心菜

西原 ゆき奈

西山 龍誠

刑部 花

服部 美咲

花野 如花

暑い夏だけと楽しいおにっこことでもつめたいソフトクリーム

太陽のキラキラ光る暑い日々涼しくなりたい夏の日常

夏休み家庭菜園育てたら家で家族とおいしく食べる

こわいのはおばけじゃなくたくさんの宿題とか家の手つだい

嫌になる夏に出てくる蚊の群れが今年も出たよ手足がかゆい

夏休みかき氷食べ外あそびそしてまた食べおいしいな

あせだくで走って水飲みまた走る毎日思う夏休みとは

夏休み部活でうまる夏休みそれでも楽しい部活の時間

夏休み祖父母の家でお泊り会いとこみんなで楽しい一日

夏休みプールで友達楽しいなプカプカ浮いて幸せな時

夏休み宿題多すぎ最悪だ部活も多くてまた休みなし

コンビニでアイスクリーム買いに行き帰宅とちゅうに大災害

モービルのジャンプをするとグリップにね力がね入るとねつまく飛べるよ

シャリシャリと音が鳴るのはかきこおり冷たいアイス食べようかな？

夏休み海に行きたいしゃこたんの貝から探す夏の思い出

暑い夜窓を開けると蒸しているあゝ暑苦しい独りつづやぐ

吐山	敦夢
平田	康祐
福島	葵斗
藤原	陽向
星川	史帆
前田	善爾
松浦	彩来
三池	侑真
三浦	康誠
宮田	十豪
山内	純太
山口	真一
山崎	倫慈
山本	陽菜
鷺尾	雪乃
和田	一花

当別中学校 二年生

コロナ禍でどこにも行けず家にいる一年続けはもう慣れっこだ  
せまりくる課題の壁ようしようあせりにあせる皆の心

ゲームするパーティゲームソログेमなんでもあるぞ楽しいぞ  
暑すぎる猛暑続きの毎日が過ぎた途端に秋の涼しさ

夏の森ひびきわたるセミの声それに負けずと鳥が鳴いている  
墓参り久しぶりだよ海みたよおはぎお供えみんなで食べた

むしあつい太陽ピカピカ光ってるひまわりかぶせて小さな太陽  
メモ帳に残った宿題書いてみた「あれっおっまじか…」後悔してぐ

コンクールみんなだとれた金賞はなによりうれしいプレゼント  
コロナ禍でオンラインピックを見ていると勝ちが多くておもしろかった

夏休みあつというまに終りくる冬休みがまちどしい  
部活動毎日続く練習は地獄の暑さああいやだなあ

防ぐヒト攻めるコロナは容赦なしひっくり返そうこの形勢を  
夏休みたのしいことがあるかもねでも宿題ばっかちよっとやだ

写真とり幸せな瞬間いつまでも大切な人とは天の川で

浅黄谷	浅里	稲垣	越後	川口	川尻	川原	亀卦川	北山	木下	工藤	酒井	坂本	佐々木	佐々木	佐々木
陵	結依	光河	夏実	真生	紗柊	和音	佑花	那央	堅護	快哩	萌夏	讚	慎吾	夏海	夏海

心の距離縮まらないんだ近づくとき大きいさけると小さい凸レンズのよう  
 十一時眠れぬ夜の静けさと本番までの日にち数えて  
 真夜中の暗闇を照らす火の花が思い出させるあの夏の日々  
 夏の空カラスが鳴く夕焼けだあわい空になり秋がせまりくる  
 雀蜂今年の夏もやってきた薪ストーブの中に君臨  
 夏休み全道大会勝ち上がるトーナメントで山登り  
 牛タンを串で売ってる冬祭り食べてほっこり温かい冬  
 もどりたいあの日にもどりやり直すミスった思い出よいきおく  
 雨音の円を描いて落ちる音そっと広がり静かにすすむ  
 コンクールゴールド金賞取りたくて休日返上今日も練習  
 オリンピックコロナの中でがんばって金銀銅のメダルラッシュ  
 夏休み祖父母の家で野菜取りきゅうりのトゲがちくちくささる  
 朝起きて窓の奥雨が見えたなら色が無くなる私の心  
 神降臨皆の思いが全道へボールと共に今動き出す  
 コロナ禍で旅行行けない夏休みお盆が暇でしかたがない  
 夏休み虫の鳴き声うるさいがそれが夏だと今でも思う  
 あと少し親に伝えてあせり出すそれでも本を読んでしまう

戸耒	鶴見	土谷	茶畑	谷詰	田中	竹村	高橋	高橋	高田	高島	清野	隅田	下段	佐藤	佐藤	佐々木
巧和	楓	衣音	明衣	実紀依	大土	衣伶	結衣	広晴	悠真	幸志	天斗	み空	隼	莉子	百華	椋生

外暑い窓をあけるときこえるよ七日の命短い命

夏暑しすごく寝たいなつばてだたくさん食べて元気ふっかつた

夏の夜辺りは暑く風こないなんとかしのぐねむれない夜

暑い中コンビニ行ってアイス買い帰ったころにはジュースになった

夏休みそんなものより冬休みその理由は虫がいないから

思い出せ嬉しいときは思い出せ今がどうして成り立ってるか

密を避けマスクない日々取りもとそう今はがまんの頃なのだ

夏休み宿題いやだなやりたくないそれでも宿題やりきりました

海に行きかき氷食ベスイカ食ベスイスイスイ海で泳ぐ

コロナがねまたお祭りを中止にす来年こそはとききたいする

夏休みコロナで旅行に行けないが家で遊んでにぎやかだ

夏の海僕と弟大はしゃぎかき氷たべ焼きそばも食う

芽を出して花がさきすく花が散るきれいな花もいずれ枯れる

夏の朝とてつもなく暑すぎる夜の涼しさ待ち遠しいな

葉に一粒たまるとすくをつぶしたらくすねならぬ小さなまんまる

長田 和磨

畑野 翔真

原 佳吾

平野 愛華

藤原 陽生

村上 望斗

森 敢太郎

山内 純翔

山下 董

山田 智也

山谷 悠音

吉田 航輝

渡辺 彩千

渡辺 楽斗

鰐淵 那保



当別中学校 三年生

夏休み課題におわれくるしいなだけどがんばるラストスパート

サイレンと同時に響く打球音沸くスタンドに興奮実況

雨上がりに虹がかからぬ近日は変わらず落ち着く日和です

窓開けて涼しい風がこんにちは風鈴共に歌い始める

夏休み最初の方は課題せず最後の方に課題で苦しむ

流れ星キラキラしててかわいいな星を見てたら心落ちつく

さよならの後の夕日は美しい夏の夜に咲く花みたく

気が付けば八月十八最終日残す課題はこれだけなのだ

銀世界上手にくつ跡おいかける猫を見ながらほほえむわたし

風鈴よチリンチリンと本日もすずしげな音を奏でているな

ポケモンをとてもやりこんだ夏休み課題してなくてピンチの最後

甲子園真夏の太陽照らされてみまで目指すは日本一

夏休み家でゴロゴロ楽しいなだけどやっぱりお出かけしたい

塾行きの電車一時の青葉風帰りは四時日の短かさよ

ある春に桜の花びら落ちていくひらひらと舞いゆっくの落ちる

砂の上汚れながらも気にせず白黒を蹴る熱い戦い

夏休み課題を早めに終らせて後はのんびり過ごす日々

坪 慎吾

芦川 風真

荒 京香

荒 菜々夏

荒井 劉神

新井 柚香

石井 裕也

石塚 大揮

稲村 愛結

猪股 陽菜梨

上田 正和

大石 健生

太田 華蓮

沖田 昊聖

小澤 友里香

小田島 莉里花

垣澤 琉磨

街中の見慣れた景色変わりゆくいちよう並木と黄色い絨毯  
 暑き日に自分の部屋で扇風機でも壊れてるめっちゃあつい  
 努力して練習取り組み最後には笑えるように楽しめるように  
 じんましん夏休み初日ふざけんなおかげで5日監禁状態  
 するすると「明日やるよ」がのびていく地獄みるのは未来の自分  
 夏休み宿題やらす友だちと焼肉して楽しい夏だな  
 三年生最後最後の夏休み思い出いっばいつくりましょう  
 夏休み勉強部活の生活で気付けはのこり二十四時間  
 陽も沈み夜空に浮かぶ淡い月色鮮やかに鳴る火花たち  
 遊園地とつてもつても楽しいなガタゴトガタゴトキヤーキヤーキヤ  
 夏休み家族みんなで出かけたよ北広島の駄菓子屋さんに  
 ブースター固唾をのんで見る先は勝利を決めるスリーポイント  
 当別のお祭り奪つ見えぬ敵今は我慢で来年こそは  
 セミの声ミンミンミンとうるさくて自然に起きる夏休みの朝  
 夏休み外で吹く風生ぬるい理由をつけて家にこもる  
 月はなく静寂切り裂き鳴く雷雨明けまで他に聞く音もなく  
 遊園地ジェットコースターガタゴトキヤースっこいとつても楽しかったぜ

杉本	清水	柴山	獅子原	佐藤	佐藤	佐々木	佐々木	坂本	斉藤	近藤	後藤	熊谷	北本	木屋路	川浪	上山
惟	玲	海斗	光心	美桜	沙香	莉南	彩希	千咲	洸喜	羽純	和輝	颯馬	航大	永汰	功貴	華琳

今年の夏育てると決めた小さな木気付けばもう葉っぱ3個

無観客熱き戦いオリンピック一年越しの有終の美

八月の真つ赤な星に照らされる鉄棒あつし触れれぬ悲しみ

雪道を歩く右手にホットココア心も体もあたたかくなる

暑い日の燃える体温感じけり今すぐ冬へと願うばかり

友達と夏に行った動物園カラスに襲われ気分下げ

コロナかつワクチンうったマスクした楽しい暮らし早く戻ろう

ふと窓を開けてみると身体には澄んだ空気耳には虫の音

なみのおとめかくしをしてふらふらとスイカをさがすあつい夏の日

秋が来て涼しくなるかと思いきやまだもう少し暑い日続く

夜が明けて朝日を見つめしばしばと時の流れを感じけるかな

昼の空視界に映る青一色夜空の星に映る影

夏休み定期テストがすぐにある宿題も忘れ終りの日近し

冬景色銀の波が地を流れるあつというまにおおいつくす

汗流し指を動かし息を吐く実ると信じて吹き鳴らす

穏やかな海のかなたに消えていく大きくなった真つ赤な太陽

熟も済み遊びほつけり七日の日潜む課題と関わる気もなし

須田 紬

須藤 わかな

瀬能 弘夢

泉亭 伊桜

高島 実希

高野 未涼

竹村 琉己

只野 心珠

種村 莉奈

千葉 史奈

遠山 開陸

中嶋 珠司

中村 位龍

野島 奎吾

長谷部 香帆

原 是久

原 俊哉

5年ぶり気持ちどんよりコロナ禍に地球を色どる5つの輪  
夜が好き暗く静かで心地良いけど私は夜明けを望む

夏休みプールも祭りもなくなってベットでポテチネット廃人

青春はやったもんがち時を経てふと思いつく懐かしき余韻

夏の夜森の自然に囲まれて燃ゆる焚火の美しきかな

夏休みアイス食べたいひんやりしてとてもおいしい今度食べよう

学校の風ない校舎は暑すぎる水飲まないと死んじゃうぞ

悠々と強くとびたつ赤とんぼキラリと光る美しい羽

朝起きてのんびり支度部活行き暑い部屋がやるきをなくす

友達と20人でGTA5昼夜逆転ハッピーデイ

夏の空大きな太陽まぶしけりみじかい夏のおとずれ感じ

西当別中学校 一年生 (学年別・五十音・原文のまま)

夏休み楽しみすぎて待ちきれないギラギラ光る夏の太陽

人間は当たり前に生きているその当たり前いつまで続く？

あなただけインターホンごしおじの顔不審に思い無視しようとした

登校時無心で走る自転車強風の道駆け抜けるよに

東方 陽斗

星見 真佑

水野 絢音

三宅 夢菜

宮田 吟士

村瀬 七海

柳沼 廉

山岸 優夢

山崎 樹里

吉田 晃誠

吉村 亜里沙

浅井 史音

石原 りお

泉 柊

今田 匡紀

部活あり楽しい毎日青春だテスト勉強これも青春一

太陽が大地に沈み大空の暗さの中に星が輝く

太美町緑がそよ風がふく自然豊かなわれらがふるさと

あのドアがひらくときにはピアノしか見えない世界ひとりの世界

夜空には打ち上げ花火届かないやっと届いた線香花火

さあやるぞ楽しいゲーム手にとって自由な時間さあはじめよう

ゆめみてた桜をくぐるはじまりを幼く駆けだし雪国をみる

海と空車の窓から見えた線遠くて近い夏の思い出

二週間ペン持つ日々親の庄返却されて感謝する時

美術部で秀麗な画を描くとき聞こえてくるよ話し声がね

ねむい朝今日も起こされ朝ごはん学校へ行くペダルをふんだ

作文や短歌作りは難しく悩んでしまい時過ぎまくる

推しのため貢ぐためには努力だけ金欠中を早くやめたい

夜の中僕は見ていたあの星を流れた先の果てない先を

緑消え紅く染まった山道へ神社によって健康祈る

雪が降りもう遊ばない小さな子遊んでいる見守る側

冬はねえ厚着をすれば大丈夫でも暑い夏何でも暑い

宇田川 夏誉

蛭子 息吹

蛭子 颯良

大高 明日香

大坪 あい

開沼 奏喜

柿崎 夢花

上川 結華

川嶋 夏実

北川 悠司

北村 優真

神野 貴久

小島 幸乃

酒井 那寿

佐々木 凰汰

佐藤 藍叶

澤口 実生

真夏の日窓の外みて空をみる赤い太陽夏を感じる

ドキドキオンユアーマークスSet：自分の記録超えてみたいな

早朝の人寝てるるとき鳥たちは自由な空に声響かせる

空ひびく鳥の声きき本を読むその日常が非日常

夜の中丑三つ時にトイシイしく気味悪い音ゾンビと気づく

先輩の大きな背中追いかけて共に闘う中体連

夏に向けヒヨドリが今青空へはばたく姿きれいな

山の中歩いてるよ太陽で晴れ間広がり昼の散歩

夏祭り七夕の夜に輝いて天をさえぎるひかりの大河

朝陽の陽の奥の奥見えてくる通り過ぎてくあの時の星

寒気さが霧立ち上り感じてるいつしか見える秋の夕暮れ

大歓声横にならんで走り出す日ごろの成果を発揮するとき

通学路友と歩く帰り道明日も一緒に通れるのかな

真夏の日クローラー入れてゲームしてアイスを食べて幸せなとき

夜の空星が見える黒い空一度は思う行ってみたいな

ボール持ち緊張しながら打った後体育館に伝わる嬉しさ

春の夜楽しみに待つ月をみて月食来てスマホ構える

柴田 ひなの

鈴木 天翔

須磨 晴輝

高橋 和花

武田 広

田原 小春

田山 楓

釣井 駿吾

長島 くらら

長瀬 仁太

仲保 蓮

中安 晃琉

夏井 ゆの

新田 絢菜

萩原 伸弥

丸岡 美結

見上 栞那

お母さん動物みてはほほえんでこれぞ本当の幸せである  
猛暑の日本々が分けた陽額当て部活に向かい夏を謳歌する  
顔知らず未だ謎だが愛おしい認知されたい毎夜願おう  
絶対に負けないように次こそは練習してうまくなりたい  
まどのふち夕日を背負い毛づくろいその姿見にいやされる時

西当別中学校 二年生

一目惚れこんな気持ちちは初めてだ早く会いたい茶髪のあの子  
暑い夏液体アイスいとわろしでもなめてみたらいいとうまし  
おっぱいぴーグーパーラインで一発ギャグ既読スルーで危篤する  
あの人を見つけたときに心臓がドキっとしたよ恋の始まり  
夏休みああ楽しみだバーベキューそれ以外には何しようかな  
いつが好き？春夏秋冬迷うけどやっぱり暑い夏が好き  
夏休み宿題あるけどまだいいや終了直前自分を恨む  
夏休み夜空見上げて星見れば風せいがあってとても美しい  
図書室でめくる思い出昨日まで助けはいらぬ新しい新なページ  
夏の陽の木漏れ日揺らぐ涼風よ葵き世情薄めてゆけり  
いつわってオシヤレした服きこなして歩いた町並色あせたよう

道島	真穂
向江	梓紗
向江	遥香
山口	寧音
山田	桃子
明石	悠之介
秋吉	蓮
アンダーウッド	空斗
飯田	城平
今井	良偉
上野	真央
及川	煌介
大西	ここ
大野	慶太郎
小原	俊悟
北川	華蓮

既読なしスマホ画面とにらめっこ恋の相手はステージの上  
あすなろはみんな優しい平和だよ元氣いっぱい笑っているよ  
白い朝入れたてコーヒー白い湯気芯温まるアツアツコーヒー  
思い出す日々の美しきは胸の中輝き過ぎる毎日は星のかたち  
あの空にいつも響くよ金属音夏の暑さを吹き飛ばす!

ヒヨドリがびーぴーとなくまた今年やってくるかな巣づくり

「てんさい」は砂糖大根見た目力ブ頭の中はもう大根乱

クマタヌキカラスイノシシアライグマノラネコネズミみんな害獣

もう三年あそこの鏡を磨くとき自分ではない誰かが笑う

家族愛小五の時間にお別れ会かわいいペットとまた会いたいな

女の子美女を見つめうふっふ僕と美女と付き合いたいな

あの瞬間ときの戻れない日々「また明日」笑う顔には淋しい背中

一歳になった子供が寝返りもつかまり立ちも一切しない

春は桜夏は青い海秋は紅葉冬は白き雪四季は美し

あたたかい家につまれてしあわせだ三兄弟って最高です

夏休みずっと合宿行ってたら宿題たまってもうはつきょう

小林	花凜
齊藤	海斗
白濱	琢磨
須藤	蒼平
須藤	侑真
高橋	花野
多湖	倫太郎
田中	孝貴
棚瀬	裕亜
堂徳	椋馬
永井	輝
永井	ひまり
中田	由希奈
野崎	万里
波多野	綾音
土原	遼大



いつまでも寝ていられるよ夏休み静かな部屋で夢の中  
変わってく周りの景色変化する君と私はつながれたから  
風香り日照り美し澄んだ空何処か感じる清涼感

中一も中二もゲーム中三も春夏秋冬〇〇高校

夏休み朝飯食べてゲームする晩飯食べてまたゲームする

帰ったらいつもばたばたあばれてるふわふわしっぱのかわいいうさぎ

休み時間先生にかけより笑顔になる友達のように話したあの日々

短歌とは石油運ぶのそれタンカーノルウエーにある海底油田

楽しいなたくさん遊びかえったらたくさんさんの課題たまっている

夏休み黄色いひまわりきれいだなひまわり畑かくれてあそぶ

こんな事前にもあったな気が重いでも踏み出した明日への一歩

西当別中学校 三年生

いつもよりやることのある夏休み勉強やりつつ楽しむ夏

何回も昨日のように思い出すこれまでであった素晴らしい日々

冬の朝ほっといっぶく缶コーヒーここが一日の準備体操

からんころん水筒の中鳴る響くこの音聞くと心に冷風

五十分たった一つの時間の中一つ一つが思い出になる

平井	音羽
對馬	琉々夏
前川	輝
眞鍋	秀虎
峯	柊人
山岸	翔愛
山田	芽依
山本	悠生
山本	頼輝
横山	夢乃
吉蘭	架
秋吉	瑠々
有澤	実優
石坂	穰
石田	帆奈
稲葉	桐華

日常はせつなのごとく過ぎていく青春短し楽しめ僕ら

月の下影にうつるお前がね汗をふきつつバットを振った

キツネの子ネコと出会ってにらみあい追いかけてしょんぼり帰る

夏がきた虫がいっぱい逃げまわるあっちもこっちも地獄かな

落ちてゆくシャープペンシル時止まるうでのばしだすとれるようにや

セミすらもなげくもうしょ日さむけするしゆくだいにしますせんせいの言葉

砂浜に体をあずけ耳すます聞こえてくるは静かな汐鳴り

夜遅く毎日勉強する日々にききういたらもう夢の中よ

朝ごはんなくてはならぬ白い米おかずは基本なんでもいい

来るたびに弾む音する卓球場こまくに響き心震わす

あつい夜空をみながらすずんでる意外と楽しい星のかんしょう

降り続く大空からの贈りものまわりを見ると傘の花束

ブンブンと僕のまわりを今年もやっつ売れスジ二位の新ウナクール

食べるなら夏だけでなく一年中僕の生きがいおいしいメロン

一心に前だけを見て蹴ってきたけど今ここは白い病室

見上げれば星があるのはあたりまえ人と同じでいつかは消える

バレー部でフルーツポンチ作りけりアイスがとけてシャイアンシチュー

井上 未理

上杉 銀士

宇野 マリア

大須賀菜々瞳

太田 泰雅

岡本 渚

小川 美羽

開沼 壮司

川嶋 芹奈

川村 凰牙

小山 悠雅

近藤 麻耶

須摩 旭陽

田近 剛

田中 公策

田中 陽翔

谷 瑞紀

白銀の上にはできるは兎の足跡目で追いければ母と子いたり  
 人生は何をしたって変わらない運に人生たくしてみよう  
 夏が来る部屋の窓から空を見る同じ空の日は一日もない  
 おしまいを告げるチャイム最高だやっと帰れるマイホーム  
 期待背に光り輝く君たちは高く寒く孤独の中だ  
 夏となり気づけば文月半年か何か感じる時間の流れ  
 明滲み雨音の下で咲くキブシ黒い花々もて甘蜜かおらず  
 あこがれのある東京へ行ってみたすこいと思ひ地元へ帰る  
 真夏の日オレンジ色の暑い日が僕たち照らす天照らす  
 青い空涼しい風に吹かれてく思い出のページ増えていく  
 大会でチーム全員汗をかき勝ったときのあの喜びを

山田	柳澤	宮本	見上	増井	藤田	冷水	廣島	廣島	中田	永井
恭輔	佳司	稜太	颯	武青	康誠	咲	陸斗	萌花	光輝	真穂

………高校の部………

一席

十年後笑える保障は無いけれどせめて巣立ちの日には笑顔で

後藤 倅生 当別高 三年

二席

帰りの道偶然二人好きな人間かれて君とはまだ言いません

岡留 羽空 一年

三席

登下校友と歩んだ道に咲くりらの香りは春の思い出

前地 さりな 三年

佳作

用意する勉強道具扇風機羽は回るが頭回らず

阿部 飛勇 一年

空の向こうどんな世界が見てみたい抜け出してみろこの世界から

齋藤 紗音 一年

たちのぼるきのこの雲が出来ていた八月六日を忘れちゃいけない

田口 劉心 一年

朝イチで飛行機乗った君想い天気予報は東京ばかり

九谷 琉魅香 二年

コナ君おねがいだから消えてくれでないと休みなくなっちゃう

中村 魁 二年

努力して乗り越えてきたつらい日々不器用なりに成長できる

石塚 由夏 三年

楽しそうそういうけれど誰とでも楽しんでるわけではないよ

川北 桃花 三年

ケガをして再起不能の右足で最後に挑む夏の思い出

北本 健晟 三年

届くかな君に想いを伝えるよ心の音が聞こえぬように

堀田 悠斗 三年

授業中集中力が低下して時計見る度ため息ひとつ  
する意味の無い事ばかりさせられる時間は金で買えないのによ

山田 七彩 三年  
吉田 悠真 三年

当別高校 一年 (学年別・五十音・原文のまま)

夏休み始めは楽しく後から休みの課題をがんばってる  
暑い夏チリリンとなる風鈴で夏を感じ思い出づくり

この夏が高校初の夏休み私は絶対家から出ない

夏休み長く感じる一日も全て合せて短い休み

夏の夜涼しい風が入ってきやっと寝つけ気持ちいい夜だ

夏が来た海にプールにバーベキュー遊び倒すぞ高一の夏

いつまでも続け続けと思いつつ隣で歩く微笑みの顔

真夏にね食べるアイスは冷たくて体にしみるおいしさだよ

夏風邪はバカしかひかぬはずなのになぜか近頃はなたれ小僧

楽しみな高一の夏コロナ禍で制限ばかり部活あるのみ

暑い夏心霊動画見たくなる恐くないから寒くならない

夏休み特別何もなさすぎて自然と笑いが込み上げてくる

青空に一直線の雲の道どんどん先に進んでいく

浅田 吉誠  
阿波 恭成  
伊折 空  
伊藤 寛人  
伊藤 真央  
今井 桃乃  
岩船 青玄  
岩間 まりん  
上田 苺香  
小笠原 裕太  
岡田 和徳  
岡田 奈瑠  
越智 羽音

暑い夏兄貴と海へギラギラだもつと熱いよ阿部兄妹  
夏休み遊びまくると喜んだ宿題もある両立だ！

今年また若葉となれば思い出す蛍飛び交う夢のとき夜

夏休み楽しい日々に油断して雑に取り組む課題であった

かきこおりシャリシャリしておいしいな夏はやっぱりかきこおりだぜ

夏休み何して過ごす迷う日々色々あってどれからやろう

日の下で元気に遊ぶ子供たち日焼けをしらない年頃だ

夏休み宿題無理でもう嫌だこんな人生もうたくさんだ

雨の日は気分が少し沈むけど紫陽花がよく映える日である

夏休み三密さけて海みに行き結局どこも混んでいる

青と夏すみわたる青涼しげな青春の色恋あはれに溺れる

君と見た雲ひとつないあの空で真っ直ぐあがり飛び散る花火

夏が来た今年はとても暑すぎる気をつけよう熱中症

太陽に向って伸びるひまわりが夕づく畑に染まりつつある

むしむしと暑い夏にはセミの声儚い命一週間

夏が来て一瞬だった夏休みキャンプも旅行もしたかったなあ

小田 春風

小原 優響

甲斐 結貴

金澤 雄飛

神田 雄輝

菅野 優佳

北村 菜々子

工藤 辰則

黒江 真歩

小助川 勇輝

小林 優汰

佐々木 舞弥

佐々木 康成

佐藤 里紅

巢河 風汰

杉山 明

夏野菜たくさん食べて健康にかせ予防にも良い食べ物だ  
 連日で30度超えるそんな日々かき氷食べて頭キンキン  
 青い海白い砂浜さすが夏この景色より君が輝く  
 夏が来た家族集まり海へ行き焼き肉をして夏を満喫  
 ストレスをこの夏休み発散だそしたら僕は心晴天  
 夏の空ふと見上げると七色に輝く虹が涼しさを呼び  
 森の中アブと戦うこの夏に頭にのったご近所さん  
 夏休みやっぱり行くのは海だからザブーンと飛びこめ一緒に行こう  
 コロナでねごとになることやらオリンピックスポーツ好きにはうれしいかぎり  
 梅雨の日に雨がザーザービチャビチャーン水が飛び散りビチャビチャだった  
 夏休み皆で花火気がつけば太陽も落ち家に帰ろう  
 夏休み温泉いってひとやすみゆぶねにつかりストレスフリー  
 窓際で風呂びすると聞こえだす風鈴の声サイダーの音  
 夏休み花火を見て思うこといつ見てもきれいだということが  
 暑いのですごく冷えたアイス棒時間が経つと溶けて垂れてきた  
 午後になる上を見上げれば何がある向こうから来る夕立の空  
 暑いから涼しき風を求めても窓開けて入ってくるのは大量の蚊

鈴木	良子
鈴木	涼太
高田	紗綾
高田	陸斗
高橋	洸刀
高橋	萌愛
立石	乙笑
田中	大翔
田村	海斗
長沼	龍斗
中山	真大
南雲	比奈
林	流希愛
三浦	璃音
皆川	翼牙
村井	沙弥香
森	航雅

ひこぼしとおの姫様が会会うから七月七日はたなばたの日だ  
去年より気温がたかく溶けそつだ今日から皆アイスの仲間

当別高校 二年

暑かった夏休みでの公式戦色が変わったユニフォーム

夏休み心踊らせまっている君に会える日八月六日

本州へ旅行計画胸弾む白紙に戻り思い膨らむ

夏休み夜蚊がうざく眠れないあの夜の日は忘れられない

大空へ羽ばたく人はわりといる空のスポーツ涼しそうだな

夏休み汗ダラダラでベッタベタお風呂に入り気持ちスッキリ

汗だくで外暑すぎておうちから出るのも嫌でこれぞ自粛だ

革命だ人民たちよ立ち上がれ新しい国作り上げよう

暗くなり人が消えゆく闇の中それでも続く涙の連鎖

きらきらと輝く夜空君と見て胸が高なり秒針止まれ

先輩が教えてくれたレシ打ちを同じ空間幸せでした

学校で唯一帰れる水曜日一緒に歩く影が重なる

バドミントンスマッシュをうちたまつなぎ相手をたおし優勝するぞ

午後8時空は真っ白冬の夜甘い香りの雪の降る夜

山口 郁樹  
渡邊 美和

浅野 恭輔

五十嵐 愛実

今村 野乃花

太田 碧斗

大森 大雅

尾崎 史弥

尾崎 静哉

小田 大翔

加藤 拓海

角田 結梨

川島 雪音

工藤 美優

久保 龍也

小山 拳都



サッカーできつい練習頑張って選手権で絶対勝つぞ

きのこ派とたけのこ派との大戦争吉田沙織できのこ敗れる

夏が来た友達と見たあの海に想いは消えた潮風が凧ぐ

「私の名呼ぶ声なんて忘れた」と嘘吐いちゃった約束破り

夏の時期暑いと文句言うくせに冬は寒いと不満が募る

夏休み花火を見てる友だちと一緒にいるからとてもキレイだ

コロナ出て何気なかった日常が幸せだった恋しき日々よ

祖母の家高校生で初めての帰省ではしゃぐ姉妹と私

夏祭り青空の下君と待つほほえんで見る君の横顔

君と会い顔を見合わせ好きと言いつ結ばれていく星空の下

夏のイスケツが熱いよ血圧がいつまで続くケツ熱サマー

夏の日の暑い日一人君想う体温絶賛右肩上がり

シンデレラ沙織ちゃんとのブトウ会いたいでどこで間違えたのか

消えていく沈む夕日にさよならをいかないでよと涙がぼろり

君の声聞こえるだけでがんばれる次会う日まで君を想ってる

夏が来た胸が弾むなこの季節気分最高夏しか勝たん

もし一つ願いが叶うそれならばもう一ヶ月休みが欲しい

柴田	悠以
高橋	風鷹
竹田	陽希
立花	希空
田中	明正
谷口	蒼空
種田	堅信
土橋	心
中下	神貴
鳴海	瑠那
南雲	玲央
橋本	優悠
布施	遥都
堀野	士
本間	花梨
町平	大和
松下	湧飛

夏休み昼夜逆転したけれど登校初日遅刻せず済む

夏の夜扇風機付けエアコンもとても涼しく布団がほしい

幸あれと月見て涙流るるをあなたの夢よ空に奏でる

名月や満月照らすかたわらに綺麗な黄金これまた一興

サッカーで真夏の中で試合をし全力出して走れなくなる

当別高校 三年

ドア開けて足元みれば桜舞うふと見上げればみどりのさくら

進路先決定したけど不安だな見学に行き不安も消えた

夢をみて今を駆けぬけこの日々にはいつかはなれる理想の自分

夏休み湿気漂う夏の夜星を眺めて心落ち着く

一言で心動かす言葉は時には救い時には殺す

新車達旧車抜いてく性能で時代の流れ今味わおう

菓子店で果実の変化じわじわと季節感じる卒業間近

桜咲き心に手あて振り返るここまで自分生きてきたなと

思い舞う色彩溢れ紅い羽根私の思い空に消え去る

楽しみがどんどんと先のばし新しい風吹くといいよね

B組は明るく元気良いクラスはなれていてもずっと友達

森河 紫音

保田 遼太郎

山本 晴基

吉岡 宙輝

若宮 礼於

東 奈樹

阿波 大樹

阿部 光之介

荒木 優翔

石井 咲也

石田 悠人

石田 莉乃

伊藤 百香

井上 千喜

上野 温

歌住 瑠人

暗闇に散りばめられたカラフルは時間が経つと消えてしまつよ

大学に行く道長く未知の世よ帰る道のり短い日かな

この心くもりのようなこの気持ち頭がはげるガラスのハート  
女子クラス女の世界厳しくて強くならなきゃやっていけない

疲れた日駅のホームで夕日見るそんな毎日明日で終わる

春になり肌につたった花びらがひらりと落ちてまたさつてゆく

二十年走り続けたあの姿今は別々個々で輝く

三度目の夏がゆっくり沈んでく冷たい風がふわりと吹いた

進路先悩みに悩み最後までギリギリセーフ推薦願

就活は作業がとでも大変だ準備を忘れず就職するぞ

初秋の夏の名残りがすぐ消えて太陽落ちて別れも早く

青い空雲ひとつない今日の日にく肉肉が焼かれならべる

別れ来るそのタイミング突然にもっと話しをしたかった

桜舞う青春のせてとんでいく別れとともに散つてゆく

桜咲き人がながめて桜散るまだ日がたつてまにかいさくら

手に入れた今年の夏もフィナーレへ自分の夢も影に消えてく

十八の目まぐるしい日々終わる夏始まる未来を夢に見る

大川 那智

大坂 美来

岡澤 胡桃

樋富 さくら

川村 幸花

北島 澄玲

北村 日菜子

木村 美優

小島 紘都

小助川 拓也

後藤 諒成

紺田 宏志

笹川 和馬

佐藤 葵

佐藤 駿

佐藤 碧斗

菅原 妃奈乃

まいにちのきみとぶるぶるつーわはねこえがきこえるせいのでぼろん

夏の空太陽強く照っていて外を歩くと蚊がやってくる

次はいつ言葉をかわすその日まで踏み出せるかな明日は一步

青空に花よ花咲き並木道桜舞い散る桃色の空

夢を見る広がる空に旅立つ日見えぬ未来に思いを馳せる

さくらとは日本のたからだきれいだな知らない人はいないぐらいに

今年には痩せる意識をしていたが食べなさすぎて心配されたし

変わりゆく季節の中で今思うコロナが増えてまた家の中

よろこびやあの幸せも過去になる暗い夜空は明日につづく

ぶかぶかと浮輪をつけてうかんでるアヒルクワックワックワッアヒルのおもちゃ

春初頭残った雪を踏み歩き母校で仲間と別れて巣立つ

あの頃も大人しかったな性格が今も昔も変わらない僕

ついに見たこの夏夜空に流れ星三回言った願いよとどけ

オンライン予定無い日の家の中皆でワイワイモンハンライズ

来年はみんなで浴衣で夏祭り顔を見ながら再会の手を

朝の駅駅のホームで話しこむ今日も一日頑張れルルル

桜咲く春のおとすれ春の風桜舞うとき夏のおとすれ

住谷 音寧

高島 日菜

高田 香穂

高橋 陸

手塚 クルミ

中川 琉斗

中村 優美

成田 美咲

野口 裕太

橋本 菜鈴

番場 竜都

樋口 颯太

前田 一徳

松本 拓斗

松本 ゆかり

丸田 珠夢

三浦 健士朗

満開の桜が告げる新学期過ぎ去った日々惜しむ間もなく  
立ち止まり周り見てみて気付くもの温もり感じて涙ひとつぶ  
入学し色々な出会いあったけど最愛の人見つけれない  
2年前君と出会えた最後の日キラキラしてた赤ペンライト  
家の中大掃除していい気分そこで見つかる幼い自分  
春終り桜舞い散る公園のピンクのじゅうたん特別な時

三上 彩華  
見上 尊琉  
水野 愛海  
宮越 葵里  
吉田 優樹  
廣瀬 紫緒里

令和三年度	応募作品数
小学校の部	二〇二作品
中学校の部	二九二作品
高校の部	一四九作品
合計	六四三作品

二〇二一年 十二月 三十日  
発行者 当別短歌会会長 大口弘美  
印刷者 当別町教育委員会  
製本 当別短歌会



